

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

① 第三者評価機関名

NPO 法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと

② 施設・事業所情報

名称：大黒町デイサービスセンター	種別：通所介護
代表者氏名：桑谷 多枝子	定員（利用人数）： 35 名
所在地： 岐阜市大黒町 3 丁目 12 番地の 1	
TEL：058-259-3211	ホームページ：http://www.wakokai.or.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 15 年 10 月 14 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：医療法人和光会	
職員数	常勤職員： 7 名 非常勤職員 13 名
専門職員	（専門職の名称） 名 機能訓練指導員 1 名
	介護福祉士 9 名 管理栄養士 1 名
	看護師 3 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）

③ 理念・基本方針（※転載）

<p>理念</p> <p>みんなを笑顔に。</p> <p>私たち和光会グループは、質の高い医療、福祉、保健、子育てサービスを提供し、ご利用者、ご家族、職員など関わる全ての人々が、いきいきと安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。</p> <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の尊厳 <p>一人ひとりの思いを大切にし、その人らしい人生を送ることができるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良質なサービスの追及 <p>常にご利用者の立場に立ったより良いサービスの提供をめざし、先進性を取り入れ、サービスの改善に積極的に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一体的な連携の推進 <p>それぞれの専門職、事業所、あるいは地域が、ご利用者にとって1つのチームとして機能する連携をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会への貢献 <p>公益性の高い事業を担う責務を自覚し、地域のさまざまな課題の解決を通じて、地域貢</p>
--

献に取り組めます。

- ・職員への支援

すべての職員を尊重し、能力を発揮しながら誇りを持って仕事ができるようにさまざまな支援をします。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

利用者が笑顔で、生涯現役をモットーに心豊かに過ごしてもらうことを念頭に、

- ・医療依存度が高くなっても受け入れが出来る為の充実した看護師のサポート体制
- ・機能訓練指導員による心身状況に応じたりハビリとマッサージの施行
- ・回想法、認知症予防体操等によるレクリエーション
- ・寝たきりの方もストレッチャーによる送迎や特殊機械浴での入浴が充実したサービスを提供している事業所である
- ・医療用ベットを完備し医療度の高い方でも対応できます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 8 月 1 日（契約日） ～ 平成 29 年 9 月 30 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

法人組織として、キャリアパスの介護段位制度で、全ての職種の職員を対象に自らが必要な知識や技術を把握し、目標を立て、目標管理シートや人事考課、OJT評価も取り入れた職員一人ひとりの能力開発の取組で人材育成を確かなものに行っている。

法人グループに内部監査チームが組織されており、法人の統括リーダー以上の多職種で構成されたメンバーによる内部監査が定期的に行われ、常に福祉サービスの質の向上の追及に努めている。

サービス実施記録は電子媒体を使用し、法人内で記録の統一化が図られ情報の共有が速やかに行われ、PDCAサイクルが適切に機能している。さらに、電子媒体のみに依存することなく、利用者に必要な情報、家族からの伝言等、対応した職員がそのときで記入する記録簿があり、職員間で利用者の情報共有を徹底させるリスク管理体制にある。

浴槽や洗い場を男女別々に分けての入浴介助や、トイレは手すりの場所や高さの異なる3つの形状の中から、その人に合ったトイレでの排泄介助、利用者の安全を配慮し、椅子の脇にT字杖が収納できる筒を取りつけ、利用者が安全な姿勢で立ちあがりや移動ができるようにするなど、利用者の自立や個別支援の取組みが実践されている。

◇改善を求められる点

実習生の受け入れはあるので、それぞれの専門職に必要とされる適切な教育・育成についての体制を整備するためにも、実習指導者の研修の導入に期待したい。

母体が医療法人ということで、これまで収支関係の経営状況を公表するという仕組みが無い環境にあるが、今後、介護保険制度の枠にあるサービス事業所として、社会性や客観性を鑑み、公表の方向での取組みに期待したい。

家族向けにデイサービスの参観日や、食事試食会を設けるなどして、利用者のデイの様子を知ってもらう機会を設け、事業所のさらなる活性化につながることを期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

実習指導者の資料がなくても受け入れが出来る実習校と連携をしているが今後、法人内の実習指導者と定期的に研修を行い、力量向上に努めていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。